（別紙４）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスMARBLE			
○保護者評価実施期間	3/10/2026	～	3/23/2026	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	3	（回答者数）	2
○従業者評価実施期間	3/10/2026	～	3/23/2026	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	2	（回答者数）	2
○訪問先施設評価実施期間	3/10/2026	～	3/23/2026	
○訪問先施設評価有効回答数	（対象数）	3	（回答数）	3
○事業者向け自己評価表作成日	3/30/2026			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者や訪問先との連携が密であり、継続性のある支援が行えている。	保護者や訪問先との蓮瑛を密にするため、SNSツールや電話を通じてこまめな情報共有を行っている。また、支援内容や利用者の様子について相互に確認し合うことで、支援方針の統一をは図っている。	定期的な面談やケース会議の充実を図り、支援内容の振り返りと改善を継続的に行うことで、より一貫性のある提供を目指す。
2	利用者一人ひとりの特性やニーズに応じた、細やかな個別支援が行えている。	個々の特性やニーズを把握するため、アセスメントや日々の観察を通して状況の把握に努めている。また、その情報を基に個別支援計画を作成し、関わり方や支援内容を柔軟に調整している。	利用者の変化や成長に応じた支援内容の調整を行うことで、より効果的な個別支援に繋げていく。

3	訪問支援により、生活場面での変化や課題を早期に把握でき、迅速な対応や支援の見直しが行えている。	訪問時の様子を丁寧に観察し、小さな変化にも気が付けるように意識している。また、気づいた点については速やかに情報共有を行い、必要に応じて支援内容の見直しを行っている。	変化や課題をより把握しやすい体制を整え、定期的な会議を通して支援内容の検討と改善を行っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	長期的な支援の効果検証や評価の仕組みが弱い。	支援記録や成果の整理が個別に行われており、全体としての効果検証が十分でない。	利用者。保護者の意見をフィードバックに取り入れ、支援改善に反映させる。また、長期的な目標達成状況を可視化し、支援内容の見直しや優先順位をつける。
2	訪問職員の休暇や欠員時の代替体制が安定していない。	訪問員の人数が限られており、急な休暇や欠員時に対応できる体制が不足している。	代替職員への研修や同行支援を実施し、訪問先ごとの状況に応じた支援ができる体制を作る。
3	家庭環境や訪問先の状況に影響され、計画通りの支援が難しいことがある。	家庭環境や生活状況が日々変化するため、事前に立てた支援計画通りの実施が難しい場合がある。また、訪問先ごとに物理的環境が異なり、支援内容が制限されることがある。	訪問前の情報収集(保護者や学校からの事前連絡等)を強化し、当日の状況把握に努める。また、職員間で事例共有を行い、環境に応じた対応力向上を図る。